

UNIT 1 テレビが子どもに与える影響

解答

- 1 テレビで見る殺人事件が作り話であるということ。
- 2 b
- 3 A
- 4 We mainly use the right side (of the brain).
- 5 d

CHECK 4. 「分別, 常識」 5. 「BのようなA」 6. strong 7. 「…と同じ～」 9. 「これは～だからだ」
15. 「その結果」 18. 「まず第一に」 21. bál-ance

解説

- 1 this は前文の内容を表すので, Adults might watch ... only a story までをまとめる。その際, understand の目的語になるような答え方をすることに注意。
- 2 the effect of television on them (= children) 「テレビの子どもへの影響」と比較しているから「大人への影響」となる。
- 3 「からだへの影響以外にも影響がある」ということは, 前の文には「からだへの影響」が述べられ, 後の文には「他の影響」が述べられているはずである。第2段落に「からだへの影響」, 第3段落に「言語能力」への影響が述べられている。
- 4 l. 11 の But television is mainly visual and makes us use the right brain. を参照。

語句・構文

- l. 2 in many ways 「多くの点で」
- l. 2 One problem (which) we often hear about is that ~ 「私たちがよく耳にする1つの問題は～ということだ」 that は be 動詞の補語になる名詞節を導いて「～ということ」。
- l. 4 It is ~ that... は形式主語構文。
- l. 6 get fat 「太る」 SVC の get は「～になる」。
- l. 9 explain oneself 「自分の考えを説明する」
- l. 10 need to do 「～する必要がある」
- l. 10 by -ing 「～することによって」

全訳

現代の生活はとても便利ですが, 多くの点で問題も作り出しています。よく耳にする問題の1つは, テレビの見過ぎで子どもが不健康になっているということです。テレビを見ている子どもが, 外で遊ぶといったような他の活動をしていないのは当たり前のことです。このことは, 子どもが太りすぎるとか, 体力や活力があまりないかもしれないということを意味します。しかし, からだへの影響の他に, 子どもへの他の深刻な影響があります。テレビをよく見る子どもは, たいてい他の子どもと同じ数の言葉を理解できません。しかし, 彼らは話をするとき, あまりすらすらと自分の考えを説明できないことがよくあります。これは, 赤ん坊が左脳を使って, 聞くことで情報を得る必要があるからだと考える科学者もいます。しかしテレビは主に視覚によるもので, 右脳を使いません。おそらくこれが後の言語能力の乏しさの理由でしょう。

- 5 a. 「テレビは子どもが成長するために, いろいろな種類の経験を積むのに役立つ。」 ll. 19-21 の Especially, ... is unhealthy. に不一致。
- b. 「もし子どもが学校で寝ているなら, その子どもの言語能力は低くなるだろう。」言語能力については ll. 11-12 に書かれており, 寝不足から学校で疲れていることについては ll. 14-15 に書かれていて, 関係はない。
- c. 「テレビをたくさん見る子どもは体力や語彙が乏しい。」体力がないことについては ll. 5-6 に書かれているが, 語彙が乏しいというのは ll. 7-8 の内容に一致しない。
- d. 「テレビをたくさん見ると, 太りすぎたり言語能力が低くなったりする。」第2, 第3段落の内容に一致。

- l. 10 using は分詞構文で「～しながら, ～して」。
- l. 11 makes us use 「私たちに使わせる」使役動詞の make は「～させる」。
- l. 12 poor 「乏しい」
- l. 19 自動詞の grow は「成長する」。
- l. 20 focus on ~ 「～を重点的に扱う」
- l. 22 might = may
- l. 25 it is ~ to do は形式主語構文。
- l. 25 just = only

多くの子どもが夢でテレビの映像を見るということがわかっています。彼らはよくテレビの番組について悪夢を見ます。その結果よく眠れず, 翌日学校で疲れ, 十分勉強できません。

しかしテレビは皆に悪くないのでしょうか。なぜ子どものことがそんなに心配なのでしょう。第一に, 子どもの脳やからだは, まだ発達しています。特に脳は成長するために, 見る, 聞く, 味わう, 触れるといったいろいろな種類の経験を積む必要があります。テレビはたいてい目に見える情報を重点的に扱っているので, 経験内容のバランスがよくありません。また子どもは世の中のことがまだわかっていません。大人はテレビで殺人を見て, それが作り話にすぎないとわかるでしょうが, 子どもはこれを大人と同じように理解できません。

言い換えれば, 子どもがほんの小さな大人だと考えるのは間違いです。子どもの脳やからだはまだ成長しており, 子どもへのテレビの影響は, 大人への影響よりはるかに深刻です。

チャンク訳

Modern life is very convenient, / but it has also created problems / in many ways.
現代の生活はとても便利だ / しかし問題も作り出している / 多くの点で

One problem / we often hear about / is that children are becoming less healthy
問題の1つは / 私たちがよく耳にする / 子どもが不健康になっているということだ

/ because they watch too much television.
彼らがテレビを見すぎるから

It is common sense / that children / who are watching television / are not doing other activities
～は常識だ / 子どもが / テレビを見ている / 他の活動をしていないことは

/ such as playing outside. This means / that children may get too fat
外で遊ぶような / このことは意味する / 子どもが肥満になることを

/ or not have much strength or energy. However, / there are other serious effects
または体力や活力があまりないことを / しかし / 他の深刻な影響がある

/ on children / besides physical effects.
子どもへの / からだへの影響の他に

Children / who watch a lot of television / can usually understand the same number of words
子どもは / テレビをよく見る / たいてい同じ数の言葉を理解できる

/ as other children. However, / when they speak, / they often cannot explain themselves very fluently.
他の子どもと / しかし / 話すとき / しばしばあまりうまく自分の考えを説明できない

Some scientists think / that this is because babies need to get information / by listening,
ある科学者は考える / これは赤ん坊が情報を得る必要があるからだ / 聞くことで

/ using their left brain. But television is mainly visual / and makes us use the right brain.
左脳を使って / しかしテレビは主に視覚的で / 私たちに右脳を使わせる

This is perhaps the reason / for poor language skills / later in life.
おそらくこれが理由だ / 乏しい言語能力の / 後の人生における

We know / that many children see television images / in their dreams.
私たちは知っている / 多くの子どもがテレビの映像を見ることを / 夢で

They often have nightmares / about television shows. They don't sleep well / as a result,
彼らはよく悪夢を見る / テレビ番組について / 彼らはよく眠らない / その結果

/ and they are tired / in school / the next day / and can't study well.
そして彼らは疲れている / 学校で / 翌日に / そして十分勉強できない

But isn't television bad / for everyone? Why are people so worried / about children?
しかしテレビは悪くないのか / すべての人に / なぜ人々はそんなに心配なのか / 子どもについて

First of all, / children's brains and bodies are still developing. Especially,
第一に / 子どもの脳とからだはまだ発達している / 特に

/ the brain needs to get different kinds of experiences / to grow
脳はいろいろな種類の経験を積む必要がある / 成長するために

/ —seeing, hearing, tasting, and touching. Television usually focuses most / on visual input,
見る, 聞く, 味わう, 触れるといった / テレビは普通最も焦点を合わせ / 視覚情報に

/ so the balance of experiences is unhealthy. Also, / children do not understand the world yet.
そのため経験のバランスがよくない / また / 子どもは世の中のことをまだ理解していない

Adults might watch a murder / on television / and realize / that it is only a story,
大人は殺人を見るだろう / テレビで / そしてわかるだろう / それは単なる作り話だと

/ but children cannot understand this / in the same way as adults.
しかし子どもはこのことを理解できない / 大人と同じように

In other words, / it is a mistake / to think that children are just little adults.
言い換えると / ~は間違いだ / 子どもがほんの小さな大人だと考えることは

Children's brains and bodies are still growing, / so the effect of television / on them
子どもの脳とからだはまだ成長している / だからテレビの影響は / 彼ら(子ども)への

/ is much more serious / than its effect / on adults.
はるかに深刻だ / 影響より / 大人への

動詞・文の構造

解答

1. b 2. a 3. d 4. a 5. a 6. b 7. c 8. d 9. b 10. a 11. a 12. c

1. for 2. him 3. to 4. chose 5. cost

1. 彼は昨日パリを出発しました。
2. 彼は昨日パリに向けて出発しました。
3. 霧が濃くなってきました。
4. 米を作っている農民はほとんどいません。
5. 私の父が私たちにケーキを作ってくれました。
6. その映画は彼女を有名にしました。

1. (Will you pass me the salt)?
2. (It is getting dark in the room).
3. (Our teacher looks young for his age).
4. The student (went out of the classroom and left the door open).
5. The Internet (makes it easy for us to) get information.

解説

1. 「私はとても疲れていたのでソファで横になった。」
目的語がないので自動詞の **lie** 「横になる」(**lie - lay - lain**) を使う。
2. 「彼は机の上に本を置いた。」
目的語 (the book) があるので他動詞の **lay** 「~を置く, 横にする」(**lay - laid - laid**) を使う。
3. 「彼女はその事故について私たちに何も言わなかった。」
人を目的語にとるのは **tell** のみ。
4. 「駅へ行く方法を教えてくださいませんか。」
reach は目的語をとる他動詞。**arrive, get** は自動詞で前置詞を必要とする (**arrive at ~, get to ~**)。
5. 「彼は私の妹 [姉] に結婚してくれるように頼んだ。」
marry 「~と結婚する」は自動詞と間違えやすいが、目的語をとる他動詞。受身では **be [get] married to ~** と使う。
6. 「その少年は手をきれいにしていない。」
keep OC 「O を C にしておく」の SVOC。
7. 「彼の行動は彼をヒーローにした。」
make OC 「O を C にする」の SVOC。
8. 「この機械は時間とお金を節約してくれる。」
save O (人) O (物) 「O (人) の O (物) を省く, 節約する」の SVOO。
9. 「そのことを私にやさしい日本語で説明してください。」
explain は人を目的語にとらない。「**explain O to 人**」と使う。
10. 「私の両親は試験の結果に驚いているようだ。」

surprised は目的語ではなく補語である。SVC の **look** は「~のように見える」。

11. 「彼は私の部屋に突然入ってきた。」

enter 「~の中に入る」は自動詞と間違えやすいが、目的語をとる他動詞である。

12. 「父は私に自転車を買ってくれた。」

SVOO で「人」と「物」の順番を入れ替えると、「物 + **to** + 人」の動詞と、「物 + **for** + 人」の動詞に分けられる。**give, send, show** は前者で、**buy, get, find** は後者である。

2. 1. 「彼女は私に映画の切符を手に入れて [買って] くれた。」

get 人 + 物 = get 物 + for 人

2. 「私は彼が正直だと思う。」

SVO の **think that SV** を SVOC の **think OC** に変える。that 節の主語の **he** は目的語の **him** になる。

3. 「彼女は有名な芸術家と結婚した。」

marry は目的語をとる他動詞で、受身にすると **be [get] married to ~** となる。

4. 「あなたはあなたの車に関して良い選択をした。」

make a choice = choose **choice** は **choose** の名詞形。

5. 「私はこのカメラに 200 ドル払いました。」

cost OO 「人に金額・費用がかかる」

3. 1. **leave O** 「O (場所) を去る」

2. **leave for ~** 「~ (場所) へ向かって去る」

3. **grow C** 「C になる」

4. **grow O** 「O を栽培する」

5. **make OO** 「人に物を作る」

6. **make OC** 「O を C にする」

4. 1. この **pass** は SVOO で目的語を2つとり、「**pass 人 + 物**」となる。**Will you ~?** 「~してくれませんか」

2. **get** は5つすべての文構造をとる要注意の動詞である。この場合は補語 (dark) を伴う SVC で「~になる」という意味。

3. **look** は補語をとると「~のように見える」という意味。「年の割に」は **for one's age**。

4. **go out of ~** 「~を出る」, **leave OC** 「O を C にしておく」

5. **make OC** 「O を C にする」の SVOC である。また **it** は後ろの **to** 以下を指す形式目的語で、**for us** は不定詞の意味上の主語である。